

未来を開く

長井市立長井北中学校

No 35 令和4年8月19日

第1回 学校評価結果

「学校評価」へのご協力、ありがとうございました。各項目の結果から、成果や課題等を明らかにして、今後に生かしてまいります。

	生徒	保護者	教職員
1 確かな学力の育成			
①授業では、授業内容を理解しようと意欲的に取り組んでいる	97%	/	/
②先生方は、わかりやすく、楽しい授業をしてくれている	85%	92%	95%
③自分は、授業中に積極的に友達と話しあったり教え合ったりしている	92%	/	90%
④5時間授業が増えたことで、以前より家庭学習に計画的に取り組んでいる	73%	70%	86%
2 自尊心の育成			
①自分は、自信をもって自分の長所を言える	75%	98%	95%
②自分の役割に、責任持って活動することができている	92%	/	95%
③元気・笑顔・会釈・自分からのあいさつができる生徒が育っている	/	94%	/
④いじめや嫌がらせがなく、温かい雰囲気の中で生活している	97%	93%	100%
⑤先生方や友達は、困ったときに相談にのってくれる	95%	/	/
3 健康・体力の育成			
①自分は家庭で決めたルールを守って、インターネットやゲームをしている	87%	63%	95%

②朝食をしっかりと取り、睡眠時間を確保しようとしている。	85%	83%	81%
③交通ルールを守り安全に注意して、事故やケガに遭わないよう努力している	100	/	100%
④5時間授業が増えたことで、家庭での生活にゆとりができる	82%	68%	/
4 地域の学校・開かれた学校づくり			
①北中は、地域に貢献し地域と共に伸びる学校になっていると思う	/	95%	90%
②学校だより、学年・学級だより等で学校生徒の様子がよくわかる	/	96%	100%

※数値は、4段階評価のAとBの数値の合計。

A : 大変よくできている B : ますますできている
C : あまりできていない D : ほとんどできていない

※回答数：生徒265名、保護者210名 教職員22名

項目ごとの結果を一覧表にまとめて整理しました。
生徒、保護者、教職員の設問表現は多少異なりますが、関連項目ごとの数値を掲載しました。生徒設問項目における「〇〇している、〇〇してくれている」は、教職員の項目では「〇〇するよう指導している、〇〇と声かけしている」と読み替えてください。



学校としては、次のような《考察》を行いました。

1 確かな学力の育成 (+、-) は昨年度比

① 生徒の授業への意欲

生徒のA、Bの合計が97%。「わかりたい・わからうとする生徒」(1年58%、2年55%、3年60%)今後も継続したい。

② わかりやすい授業

生徒85(-10)%、保護者92(+2)%、教員の指導95(+9)%。生徒と教師に意識の差。教員の教材研究時間(-15%)。授業準備を充実し、対話や交流、ICTの活用を工夫した授業づくり。

③ 話し合いや教え合い

生徒92%、教員の指導90(+17)%。授業への意欲と相関関係が見られる。生徒一人一人を見取り、自他の考えを比較し、合い高め合えるような授業を工夫する。

④ 家庭学習

生徒73(-14)%、保護者70(±0)%、教員の指導86(+9)%。
自ら計画的に取り組む働きかけと適切な量の吟味が必要。

2 自尊心の育成 (+、-) は昨年度比

① 自分の長所を言える

生徒75(-3)%、保護者98(+2)%、教員の指導95(+4)%。
一人一人の良さを見つけ、個を伸ばす指導を心がけた。本人の伸びや努力を認め、賞賛する機会を設ける。

② 責任感

生徒92(-5)%、教員の指導95(±0)%。
自分の役割が明確で、一人一人に活躍の場がある。一人一人の頑張りを認め、自律につなげていく。

③ いじめや嫌がらせがない

生徒97(+2)%、保護者93(-2)%、教員の指導100%。いじめ撲滅宣言やていねいな対応等により、安全・安心な環境が作られている。今後は、未然防止に向け積極的な関わりを図る。

④ 相談にのってくれる

生徒95(-2)%。生徒や保護者からの信頼感の証。「誰もが、いつでも」相談できる体制を整える。

3 健康・体力の育成 (+、-) は昨年度比

① メディアのルール

生徒87(-1)%、保護者63(-5)%、教員の指導95(+22)%。
生徒、保護者、学校の危機意識に差。学校、家庭とPTA連携し、
安全利用に向けたルールの徹底に努めたい。

② 朝食・睡眠

生徒85(-8)%、保護者83(+12)%、教員の指導81(+4)%。
家庭の時間が増え生活リズムに対する保護者の意識が向上。
生活モデルの紹介や、学校と家庭が一体となった指導が必要

③ けが・事故防止

生徒100(+1)%、教員の指導100(+5)%。
事故防止に対する意識が高い。即時対応と即時指導を基盤
に、交通安全(特に、自転車の乗り方)の指導を徹底する。

4 開かれた学校づくり (+、-) は昨年度比

① 地域に貢献する学校

保護者95(±0)%、教員の指導90(-1)%。

地域行事や校外子ども会、ボランティア活動など地域活動への参加意欲は高い。「自分から」の意識伸張をめざす。

② 情報発信

保護者96(+3)%、教員の指導100(+4)%。

今後とも、「学校だより」「学年・学級だより」「ホームページ」等で情報発信を進める。

この他、生徒、保護者の方々からは貴重な「声」をたくさん頂戴しました。2学期の職員会議(8月17日(水))では「『声』を謙虚に受けとめ、日常指導に生かすこと」を確認しました。

〈 2 学期の指導のポイント 〉

◇毎日の授業や家庭学習を一層充実させ、学力向上を図る

- ・教師は常に生徒の立場(気持ち)で授業をすすめ、「わかる」「できる」「楽しい」授業を行い、「学力」をつける
- ・授業と家庭学習を連動させ、家庭学習の改善を図る

◇自分に自信を持たせる

- ・一人一人の良さを取り上げ、周囲からの働きかけを意識して行い、生徒の自信につなげる

◇生活リズムを整える

- ・メディアのルール等、家庭との連携のもと、自己管理の視点から声掛け等に努める

◇安全意識の一層の高揚を図る

- ・ならぬことはならぬ!安全への意識を高め、継続して「自分の命は自分で守る!」を徹底させる

次回の「学校評価」は、11月実施予定ですが、お気づきの点は、そのつど、学校までお寄せくださいるようお願いいたします。

＝ありがとうございました＝

8月3(水)・4日(木)、本校体育館に避難所が開設されました。その際使用された校内物品の代替品や今後の活用に役立てて欲しいということで、ジブラルタ生命から「タオル200枚」寄贈していただきました。

